

「歌」＝「音楽」＋「言葉」。

どちらも大切。でも、あえてひとつを選ぶなら？

混声合唱団ブルーメンクランツは2018年に創団15周年を迎えました。15年間の集大成となる今回の演奏会では、サリエリ(1750年～1825年)のオペラ《まずは音楽、それから言葉》から題を借り、当団がこの数年にわたり検討している、ある「命題」について取り上げたいと思います。

その命題とは、「歌において、音楽を表現することと、歌詞の意味を伝えることは、どちらがより大切なのか？」ということ。この悩みはかなり昔から存在しており、先述のオペラでは劇中で、まさにこのテーマを扱っています。

…などを書くとなんだか難しそうですが、それぞれの演奏曲は歌っても聴いても楽しい名曲ぞろい。シェフ(常任指揮者)のハイセンスな気まぐれで選ばれた楽曲たちを楽しんで聴いていただくうちに、なんとなく我々がお伝えしたかったことが伝わる、そんな演奏会にしたいと思っています。(※以下の各ステージの曲順は変更になる場合があります。)

<第1ステージ> バード《4声のミサ》より《Agnus Dei》／モンテヴェルディ マドリガーレ 《Baci soavi e cari (甘く優しい口づけよ)》、《Lasciatemi morire! (私を死なせて)》／リーク《Red Earth》

人類の最初の「歌」はポリフォニー(パートごとに独立した旋律をもった音楽)であった…という学説があるそうです。理由は、狩りをするときに複数声部で声を出したほうが人数が多く聞こえるから。メッセージを伝えることだけを意図した場合には斉唱やホモフォニーのほうが効率が良く、教会音楽から始まった西洋音楽史においても、音楽を重視するか歌詞を尊重するかというテーマは音楽のづくりに影響を及ぼしているようです。詳しい解説は演奏会当日のパンフレットを読んでいただくとして、第1ステージではいくつかの外国語作品を通して、それぞれの作曲家が音楽と歌詞の問題をどう扱っているかをご紹介します。

<第2ステージ> 柴田南雄 《三重五章》より 第二章〈参宮風景〉(a. 伊勢音頭/b. 伊勢の手回し)／寺嶋陸也 混声合唱のための《おもろ・遊び》より I.〈暁〉／信長貴富 混声合唱曲《夕焼け》

多くの日本の合唱曲は西洋音楽の構成の上に日本語をのせて歌われますが、そもそもの西洋言語と日本語の作りの違い(日本語は子音と母音が文字の上では分離されておらず、多くの日本語話者は普段発音する際もこの点をあまり意識していない)から、日本語の音楽は西洋音楽に求められるレガート唱法で歌うことが難しい、という宿命を持っています。この問題に対しても、これまでいろいろな試みが行われてきました。「日本語を美しく響かせて歌うこと」とはどういうことなのか?第2ステージではこのテーマを取り上げます。

<第3ステージ> ヘンデル《Dixit Dominus (主は言われた)》

ヘンデルと言えば《メサイア》が有名ですが、ほかにも多くの合唱曲があり、総じて難易度は高めです。ヘンデル21歳の時(1706年～07年)に着手されたといわれるこの作品は、典型的なバロック音楽であるものの、300年以上前に書かれたとは思えない斬新な和音の扱いもあり、なかなか鮮烈でドラマティック。そして、例えば第1曲では138小節(約6分間)を使ってたった2行の言葉しか伝えていないなど、歌詞の存在意義について考えさせられてしまう作品でもあったりします。近年、レガートで歌う技術の向上を至上命題にしている当団が、この曲をどう攻略するか?どうぞお楽しみに!

混声合唱団ブルーメンクランツ



2003年3月創団の社会人混声合唱団。常任指揮者小林昭裕(合唱指揮者・バリトン歌手)、ピアニスト久住綾子を含め、アラフォー世代を中心とした働き盛りのメンバーで構成。アマチュアながら、演奏技術と芸術性の向上に真剣に取り組み、積極的に「同世代のプロ奏者との共演」「同世代の作曲家への作品委嘱」「本邦初演/演奏機会希少作品の発掘」「演出つきステージ」など、オーソドックスな合唱コンサートのあり方にこだわらないステージ構成への挑戦を続けている。創団以来、毎年6月(たまに7月)に定期演奏会を開催し、今回が15回目となる。仕事にも趣味にも本気で取り組むメンバーの情熱が生み出す完成度の高いステージは、毎回来場者より大好評を博している。

会場のご案内

トッパンホール 東京都文京区水道1-3-3

TEL: 03-5840-2200 <http://www.toppanhall.com>

地下鉄有楽町線「江戸川橋」駅4番出口より徒歩約8分
都営バス[上69][飯64]「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分
(飯田橋駅からは徒歩約13分、後楽園駅からは徒歩約10分となります。
両駅ご利用の際はお時間に余裕をみてご来場ください。)

